



「オール ソフィアンズ 大祝宴 All Sophians' Banquet」 実行委員長を務めて

経鷲会会長 上原 隆一
(1976年経・営)

経鷲会会員の皆さまには平素より会務運営に多大なるご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて私が実行委員長を務めましたソフィア会主催の上智大学創立 100 周年記念「オール ソフィアンズ 大祝宴 All Sophians' Banquet (以下大祝宴)」は、上智大学創立記念日の 11 月 1 日ホテルニューオータニにて盛大に開催されました。

当日は上智学院主催で一連の創立 100 周年記念事業が執り行われ、午後には東京国際フォーラムに天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、ルクセンブルク大公国からフェリックス王子殿下・クレア妃殿下、またローマ教皇特使のラファエレ・ファリーナ枢機卿殿下をはじめ国内外からのご来賓ご臨席のもと上智大学創立 100 周年の記念式典が挙行されました。

ソフィア会主催、上智学院後援で経鷲会も共催している大祝宴は、夕刻よりホテル最大の宴会場「鶴の間」で会場リミットの 1500 人の参加で開催されました。開場前のウエルカムドリンクに始まりメインイベントで、この日のために新井満さん(70 法・法)がアッシジの聖フランシスコの「平和の祈り」をベースとして作られた「神様のシンフォニー」を、ご本人、ミュージカル俳優石井一孝さん(90 外・西)、学生コーラス「ソフィア・センテナリー・クワイア」の皆さんが見事に歌い上げますと、すし詰め状態の会場から大きな喝采が上がりました。実行委員長の立場で来会者へお礼のご挨拶を申し上げるために登壇した際、会場の皆さまの嬉しそうな顔が見られたとき、一連の労苦が報われたのを感じました。

思い起こせば経鷲会元会長でソフィア会の 100 周年記念事業の旗振り役を務められた戸川宏一先輩からソフィア会主催の祝賀会実行委員長への要請を受けたのは 1 昨年秋のことでした。お断りするわけにもいかずお引き受けしてから走り続けた期間でした。同じ釜の飯を食い苦勞を分け合う仲間である実行委員を選び、コンセプトやチラシを考案し、ASF でのピラ配り、ホテルや学院側との交渉、ソフィア祭実行委員会との連携、ホームページの開設とエントリー開始。プログラム作成、運営方法の検討など様々な課題をクリアし、また朝令暮改さながらの修正変更など紆余曲折を経て準備は進められました。この間の実行委員各自の奮闘努力は大変なものがありました。しかしながら開催 1 か月前の 9 月末時点でエントリー者数が予定の半分程度しか無く、焦燥感に苛まれ夜中に飛び起きたりもしました。10 月も後半になりエントリー者数が伸び始め最終的には、お断りせざるを得ない状況となりましたが、聖母、短大、社専の代表者を含め実行委員会のメンバーに助けられ支えられて無事開催に漕ぎつけることができました。

このイベントを通じて様々な特技を持ったプロフェッショナルを含めソフィアンの連帯の強さ、献身的なボランティア精神と我慢強さを目の当たりにしましたし、海外や北海道九州を含め各地からご参加いただいたソフィアンの母校愛はこの日ばかりでなく、101 年目へとしっかり第一歩を踏み出したことを確認しました。

経鷲会からは実行委員として多くの方々にご苦勞をおかけしましたし、当日も大勢のご参加をいただき、本当にありがたく改めて深謝申し上げます。

ご挨拶

上智大学 経済学部長
山田 幸三



上智大学経済学部は2013年に学部創立百周年を迎え、9月21日に記念行事と祝賀会が開催されました。記念式典では、高祖敏明理事長、滝澤正学長、上原隆一経鸞会会長のご出席のもと、大学とともに一世紀におよぶ歴史を歩んできた経済学部の百周年を祝い、引き続いて「日本社会の再活性化と大学の役割」を統一テーマにした記念講演会と記念シンポジウムが行われました。

2012年末の政権交代以降、わが国は長期にわたるデフレからの脱却を最優先課題とし、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略という、いわゆるアベノミクスの三本の矢による持続的な成長の実現を目指しています。2014年は、アベノミクス三本目の矢となる民間投資喚起のための成長戦略策定で正念場を迎えます。

日本経済は本格的な高度知識基盤型の経済へと変貌を遂げていますが、わが国では少子高齢化、年金、医療は言うに及ばず、近隣諸国との外交・安全保障、エネルギー戦略など問題が山積しています。近年は「失われた二十年」と呼ばれる経済的な停滞の時代でした。この期間には、阪神淡路大震災と東日本大震災という未曾有の大震災も経験しました。

罹災した地域を中心とした社会の復興とその再活性化はわが国の主要な課題であり、百周年記念行事の統一テーマ「日本社会の再活性化と大学の役割」は、大学にとっても正面から向き合う課題として位置付けたものです。経済学部にかかわるすべての人々にとって、経済学と経営学の視点から日本社会の現状と課題について今一度深く考える契機となったのであれば企画の趣旨は達せられたと言っていると思います。国際的な競争力をもつ産業の地理的な集中は、産業クラスターの概念として提唱されましたが、そこでは大学、規格団体、業界団体などの関連機関が明示されています。大学は地域の経済的発展に寄与する主要なプレーヤーの一つなのです。

経済学部の新たな百年への第一歩となる2014年は、わが国の新たな経済的な発展への転換点となる年であってほしいと願う次第です。経済学部も「叡智（ソフィア）が世界をつなぐ」という大学のミッションのもと、研究と教育を通じてグローバルに未来を見据えた視点から思考し、行動する人材を育成して、社会的な諸問題の解決に資する情報発信や知識の創造にかかわっていきたくと考えています。

百周年記念行事と祝賀会の開催にあたっては、経鸞会に多大なご支援をいただきました。経鸞会会員の皆様には、この機会に改めて厚くお礼申し上げますとともに、新たな百年への航海に臨む経済学部に対して、今後も一層のご支援を賜るようお願い申し上げます。

新編集長就任のご挨拶

小泉基靖
(1969年経・経)



今般、エコノミアン編集長拝命に当り一言ご挨拶申し上げます。

年2回発行される経済学部同窓会会報誌は、OB・OG、教授、現役学生等相互の交流や情報の交換を意図しています。また、当会が企画するさまざまなイベントの開催等を通じたコミュニケーションの機会を広報します。これからもソフィア会や大学当局の協力の下、本会報誌が上智大学の将来の発展に寄与していくことを祈念して、充実した内容の会報誌となるよう任期中最大限努力して参ります。会員の皆様のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

オースティンが教えてくれたこと

益田 広平 (在学4年生 経・営)

ばた、ばた、ばたと荷物をまとめて、成田空港へ向かうバスに飛び乗ったのは一昨年の8月でした。期待と不安で飛行機の中では一睡も出来ず、オースティンの国際空港につくと、すぐにホテルへと向かいました。タクシーの運転手はとにかくオースティンは良いところだと教えてくれました。特に「テキサス大学の女の子は可愛い、おまえが羨ましいよ」(笑)と言われながらタクシーから降り、慣れないチェックインを済ますと、そのままベッドに倒れ込みました。そこから一日中寝ることになりますが、オースティンでこんなに眠れたのは最初で最後だったなあと、感慨深いものがあります。

テキサス大学での生活はとてもハードなものでした。学生の多くは Study hard, party hard を是とし、夜中まで勉強し、テスト前は図書館に泊まり込みます。勉強が終わればどんちゃん騒ぎと、とてもメリハリの効いた生活を送っていました。全米でもパーティースクールとして有名な大学で、イベントには事欠きません。大学からバスで5分ほどの、6th street というバーやカフェが建ち並ぶ通りは、週末になると、街の人々で溢れかえります。フットボールシーズンは街の人総出で大学のチームを応援し、校内の6万人のスタジアムが埋め尽くされてしまいます。

そんなイベント大好きなオースティンの人々はとても気さくで、友達だけではなく、街の人、カフェの店員さん、バーのお客さんなども何気なく話しかけてきます。そんなオースティンの人達から学んだ大切にしたいと思う2つの姿勢を紹介したいと思います。

ローカルの良さを大切にする

“Keep Austin wired” これはオースティンを変ったままにしようというスローガンです。Wired は辞書で引けば、「気味の悪い」「不思議な」、などの訳が出てきますが、オースティンの人達はフレーズを「ユニークだ」という意味で好んで使っていました。ローカルビジネスを支援するスローガンとして作られたこの言葉の通り、オースティンの人々は地域に根付いたビジネスを大切にしています。6th street では地元のアーティストの音楽に溢れています。ちょっと高くても、個人店を利用し、週末は街を取り囲むグリーンベルトで自然を楽しみます。

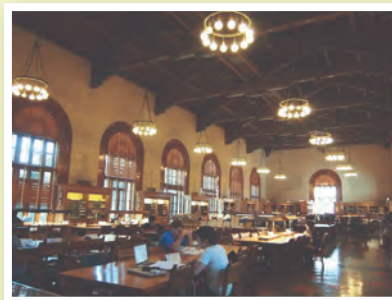
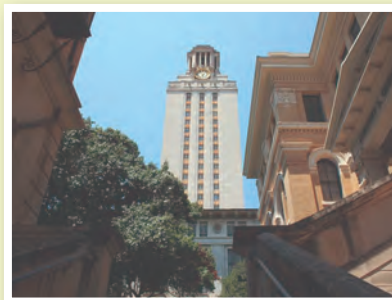
そんなオースティンの国際空港に有名なチェーン店は入っていません。空港の設計の監督をした、Speck 先生の授業の際、不思議に思い質問をしてみると「空港はオースティンの顔。オースティンを知り、好きになってもらえるようにオースティンのオリジナルの店に出店してもらうようにしている」との答えが返ってきました。

独自性を保つことが、オースティンの魅力となり、人を集めるのだと感じます。これがオースティンの経済発展のかくれた秘密ではないかと思っています。

新しいものを評価する

一方でオースティンは新しいものをどんどん歓迎しようと言う風土があります。

留学先のテキサス大学ではベンチャー企業向けの(もちろん学内の学生も参加します) Moot Corp Competition ビジネスコンテストが行われ、大学内にオースティンテクノロジーインキュベーターという、起業家を生活、ノウハウ、ネットワーキングからサポートする仕組みが整っています。IT 産業が集積をし、シリコンバレーを追隨するシリコンヒルとして知られるオースティンの原動力となっています。





春休みの10日間ダウタウン全域で行われるSXSW（サウスバイサウスウェスト）というイベントでは、音楽、映画、先端技術のイベントがあちこちで行われます。

どこに何があるかさえも分からない、新しいものが一堂に会する機会です。

Twitter, Foursquare, Pinterest という今では世界的に有名なサービスが名前を売ったのもSXSWだと言われています。

また、日常レベルでも新しいものに対する興味を強く持っています。例えば下駄なんかをはいていると、多くの友達が興味を持ってくれました。中には日本に帰ったら送ってくれという人もいたので、自分の持って行った下駄をあけてきました。

このようにオースティンでは人々の姿勢から制度にいたるまでローカルなものを大切にしながらも、新しいものの良さを積極的に評価することが体現されていたように感じます。そういった姿勢を根底で支えるのは、人に対する寛容さや繋がりを大切にする気持ちではないかと考えます。上智大学でも同窓会整備の動きが活発になっていると聞きます。それを支えるのは制度を作る人の思いではないでしょうか。今後、同窓会の活動にも携われればと考えています。

オースティンが教えてくれたことを大切に、上智大学、また日本の発展に貢献して行きたいです。

旅行記

小川 晋一（1960年経・経）

小学校1年生で終戦を迎えた私にとって、もの心がついた頃から Made in America のすべてが目新しく、モダンでアメリカへの憧れが募っていました。そんなことから英語には特に興味を持ち、上智に入学して身につけた生の英語が私の人生を楽しく豊かにしてくれました。

就職は化学会社で英語とは関係のない部署にいましたが、1969年に力試しに受けた英検1級で優良賞を受賞しました。依頼されて提出した体験談が機関紙 Step に掲載され、これが会社の人事部の目に留まり、輸出市場開拓を開始したばかりのアロンアルファという接着剤の海外業務に急遽携わることになりました。憧れの米国に社費で行けるようになり、私にとっては嬉しい異動でした。以来主要な都市は殆ど訪れています。

1992年には米国法人を設立し、責任者として、Ohio州Columbusで約3年半現地の生活を体験し、自然豊かなアメリカが益々好きになりました。次第に広大なこの国を自由に旅することが夢として心の中に膨らんで行きました。退職してからと考えていましたが、元気な内にと2013年の1月に現在の勤務先の社長にざっくりと2カ月の休暇をお願いしました。女房からは「2カ月も身体が持たない」と言われ、一人で出掛けることを考えていましたが3月に71歳で退職する同僚が、一緒に連れて行って欲しいということで、二人で6月の中ごろ梅雨の日本を脱出することにしました。

私のマイレージを使って二人分の予約をすべくデルタ航空に電話したのは2月1日でした。しかし驚いたことに希望するルートのマイレージ用の空席は既に埋まっていた最終的に成田・LAで6月15日出国、8月14日帰国の便がなんとか予約出来ました。

早速北米の大きな地図を広げて、アメリカは初めてという同僚のことも考えて、大まかなルートを設定しました。一日の走行距離として300-400キロを目安に、Internetで行程を調べると、車では2カ月でも足りません。そこで部分的に大陸横断鉄道 AmTrak の寝台列車も利用することにしました。

レンタカーは砂漠地帯を走る行程にはSUV、市街地はセダンを借りま





した。夏休みシーズンなので有名観光地のホテルは早めに予約しました。どのホテルに泊まるか決めるのも大変な作業でしたが、その労は報われました。

行き先に関する情報は Internet や米国の友人が段ボール箱一杯持って来てくれた AAA (日本の JAF) 発行の州ごとのガイドブック、地図や主要観光地のパンフレットから得ました。情報量の多寡が旅の質を左右します。出発直前までこれらの資料調べや Internet 検索に可能な限り時間を費やして、準備を整えました。

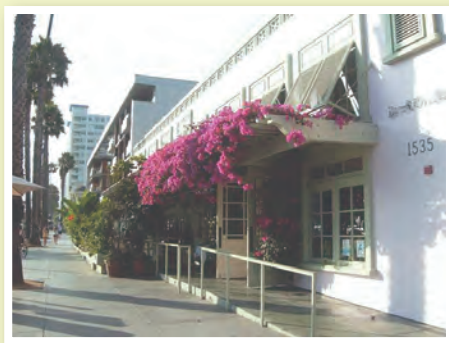
旅行中の電話と Internet は LA の取引先が iPhone と WiFi のルーターを無償で貸してくれたので、持ち込んだノートパソコンをどこでも使え大変助かりました。iPhone はナビとしても役立ちました。

殆ど雨に降られることもなく、順調に旅程を消化していましたが、同僚が留守宅で急病人が出たと、シカゴから急に帰国したので、その後は気楽な一人旅になりました。宿泊先も小規模なモートルや B & B (民宿) もトライし、ホテルのフロントにはない人間味のある対応と

サービスも味わいました。

AmTrak の利用は今回が初めてでしたが、程良い揺れも心地よく、中々快適でした。チケットは Internet で購入しました。Coach 料金をまず払い、Option で寢室を買う手続きでした。二人用の寢室は昼は相向かいのシート、夜は 2 段ベッドになります。スペースの関係で部屋に持ち込めるスーツケースは 1 個に限られ、残りはチェックインして預け、降車駅で受け取ります。従って各駅での停車時間は 30 分位取っています。3 食付きで、食堂車では 4 人用のテーブルに他の乗客と同席。一期一会の出会いも楽しみました。

旅行中特に不自由したことはありませんが、レストランでの食事の量の多さは相変わらずで、一人分を二人に分けて貰ったことも度々ありました。全て自分仕様の旅なので、最後の 10 日間は予定を変更して往路で会えなかった東海岸の Savannah に居る娘家族を訪ねました。これにより当初の旅程は完走できませんでしたが、2 カ月がアツという間の最高の旅でした。今回行き残した部分はまた機会を作って走破したいと思っています。旅のブログ <http://shinogawa.exblog.jp> もご参照頂ければ幸いです。



アレキサンドリア大学にて柔道指導

小山 繁 (1970年経・営)

大学卒業後商社マンとして海外とのビジネスに従事し、海外駐在も数カ国で経験してきましたが、中東のドバイ駐在から帰国した時、アテネオリンピックで大活躍の柔道の日本選手に感動し柔道を再開しました。57 歳の時でした。

35 年振りに黒帯を締め、日比谷の丸の内柔道倶楽部の会員となり柔道の稽古を始めました。丸の内柔道倶楽部は若い学生から 80 歳を超えるリタイアした人々まで 300 名ほどの会員が所属している倶楽部です。当時平均年齢が 59 歳と言われていました。私は柔道再開したものの身体がついて行けず当初は苦勞しましたが、徐々に慣れると同時に、稽古先も講道館や寝技研究会にも広げ、積極的に鍛錬し直しました。



アジアパラリンピック広州盲人柔道の大会会場にてマレーシアの選手達と

そして定年を機に JICA の海外柔道指導のシニアボランティアに応募しマレーシアの KL での盲人柔道指導の選考に合格し、KL で 2 年間柔道の指導を行いました。この間、中国広州で開催されたアジアパラリンピックにはマレーシアのナショナルコーチとして選手達を引き連れて参加しました。

マレーシアでの柔道指導満了後、今度はエジプトアレキサンドリア大学での 2 年間の柔道指導に選ばれ、現在エジプト第二の都市であるアレキサンドリア (人口 800 万人の地中海都市) のアレキサンドリア大学体育教育学部で柔道の指導を行っています。



アレキサンドリア大学生徒達との集合写真

ん。アレキサンドリアには、スポーツ総合倶楽部で柔道を教えている所が6カ所あり、施設も立派で大きく裕福なファミリーの社交場になっています。会員は倶楽部ライフを楽しみながら柔道の稽古に励んでいます。エジプトはこうした限られた柔道人口の中で、世界ランク上位者でなければ出場出来ないロンドン・オリンピックに5名の代表を送りました。エジプトの柔道の実力は相当なものと言えます。私は請われて2カ所ほどのスポーツ倶楽部にも出かけ少年少女達を中心に柔道指導を行っていますが、柔道発祥の日本からの先生に教わりたいとの熱意が強く、一緒に稽古するのを現地の皆さんに喜んでもらえるのは大変有り難い事と思います。

アレキサンドリアでは、定期的に柔道の試合も行われています。宗教上の関係で女性はヒジャブと呼ばれるスカーフで頭髪を隠した姿での出場になりますが、女性の試合出場者数は意外に多く、そこではお互いに攻め合う白熱した試合が毎回展開さ



女子柔道選手

アレキサンドリア大学では数年前にエジプトでは初めて、柔道を正課として導入しました。柔道の心身の鍛錬によるその教育的価値が着目され、体育教育学部コンバット部門の必修科目に加えられたものです。私は大学ではドクトールまたは SENSEI (先生) と呼ばれ、年間 600 名の学生達の柔道指導を行っています。エジプトでは日本の様な学校でのクラブ活動はありません。柔道を習いたい・やりたい者は近くのスポーツ総合倶楽部に行ってそこで稽古をします。幼児期から柔道を始める者が多いので、柔道経歴の長い者が少なくありません。



エジプトの英雄オリンピック銀メダリストラシュワン氏及び柔道関係者

れています。女子選手達の闘争心はとても旺盛で、そして喜怒哀楽の表現は激しく、勝てば大喜び、負けると声を出して泣く。それを応援の家族がなだめ、そして癒す。観ていてほほえましく感じられます。

JICA シニアボランティアとしての私のエジプトでの活動は、前回のマレーシアでの視覚障害者柔道指導に続くもので、エジプトでの任期も残すところあと数ヶ月ですが、柔道の魅力・楽しさを出来る限り多くの人々に伝え、エジプト柔道の底辺拡大並びに民間外交の一助になれるよう微力ながら努めていきたいと思っています。

グローバルな資金繰り効率化のお手伝い

前嶋 浩文 (1983年経・営)

三輪さんからの依頼で駄文を書かせて頂きます。金融で働き始めて早くも30年近くになります。その間、かなりの時間を所謂マーケットと言われる部門で過ごしてきました。80年代のデリヴァティブ黎明期、90年代の米国金利市場、そして外国為替マーケット、どれも感慨深いものでした。でもデリヴァティブ・為替マーケット関係の裏話等は引退してからのお楽しみとさせていただきます。なぜなら今お話ししなければいけない事が他にあるからです。

現在はCMS、キャッシュ・マネジメントを主に営業しています。このごろ、この言葉を聞かれることもあるかと思いますが、短期資金の有効な管理と活用です。本邦企業がグローバルには最も取り組まなければ、と言われているものです。そういわれると、そんなことはないとおっしゃる方もおられると思いますので、面白い例を挙げさせていただきます。



ご存知のリーマンショックの直後、皆さんのどなたでも知っていると思われるお客様から連絡がありました。お聞きになったのは何と世界中で弊行に全部でいくら資金があるかという問い合わせでした。銀行は簡単に答えられると思っていらっしゃるかもしれませんが、実は名義が違えば子会社であっても答えられるものではないのです。世界を相手に戦うためには、グローバルでどれだけ運転資金があるか当然わかっていると思うのですが、実態は違います。よくある例だと翌月の末にという事になってしまいます。また資金の所在が不明で、本社 CFO の方の差配できる金額より地域トレジャラーの金額が一桁多いなどの笑えない話も出てきます。

もう一つ業界では有名なスイス航空の例もあります。

「1931年にスイスの国営航空会社として設立し、以来、その堅実な経営で“空飛ぶ銀行”とまで言われた。1990年代後半にはクロスエア、バルエアを傘下に置いたり、ホテル事業を始めるなど S Air グループを形成した。さらにサベナ・ベルギー航空と資本提携してクオリフライヤーという航空連合を結成、AOM フランス航空、LOT ポーランド航空、TAP ポルトガル航空などヨーロッパの中小エアラインへも資本参加し、スイス航空はクオリフライヤーグループの盟主となった。しかし、1990年代末頃から傘下におさめたフランスの航空会社やサベナ・ベルギー航空の業績が急速に悪化し、それはスイス航空の経営にも悪影響を及ぼし始めた。その最中に悲劇が訪れ、1998年に後述するスイス航空 111 便墜落事故（カナダ・ノバスコシア州ハリファクス付近の海上で墜落・全員死亡）を引き起こしたことで同社の赤字増加をさらに加速することとなった。ネスレなどから経営者を招聘して建て直しを図ったが上手くいかず、そこへ 2001 年のアメリカ同時多発テロ事件で航空需要が落ち込むと、まず慢性的に赤字だったサベナが倒産し、業績が悪化していたスイス航空もサベナと共に倒産になる形で 2002 年に倒産してしまった。」（以上出典ウイキペディア）

この後日談として、管財人が入って資産を検証したら現金がドッと出てきたという話です。買収会社の寄せ集めで資金の所在が把握できていなかった事が一因と言われています。

ではどうすればよいのでしょうか？いつもガバナンスを効かせ世界中のグループ企業をコントロールすることが実は求められているのです。一方、競争相手の欧米勢はどうでしょうか？グローバルな資金の可視化、グループ間決済の最適化（ネットィングといいます）、国を跨いでの資金の自動集中／配分（プーリング）そして一元的な支払サービス、中には受領資金の自動消込までグローバルに手掛けて徹底的に効率化を推進しています。尤も 70 年代から国際的に進出を果たされた電気や自動車の業界の方はこの分野にも気を配られています、それ以外の業界ではこれからスタートといったところでしょうか。

今はそのお手伝い出来る事に何より喜びを感じております。

田川正一さん（70 年 理・物）の被災地支援活動と自動車事故からの復帰

枝川 葉子（1972 年外・独）

世界中を震撼させた 2011 年 3 月 11 日の東日本大震災から 3 年経とうとしています。

『福島第一原発から 5 キロ圏内の重度知的障害施設「東洋学園」の子供と大人 200 人余りが避難所を転々としている。3 か所目。付き添う職員やボランティア約 50 人とともに、小さな建物で限界の生活を続けている。』3 月 26 日朝日新聞記事を見た田川さんは、思わずその記事を持って車で現地に向かいました。スポーツソックスメーカーの田川さんは、ソックス 500 足を持って福島県田村市の山の中にある避難所を突然訪問したのが被災地支援活動の第一歩で、時間を工面して、被災 3 県は、大船渡市の支援センター、石巻市は石巻祥心会グループ施設へ 3 回、仙台市は仙台重度身体障害施設と幸泉学園、相馬市は相馬ユートピアなど、田村市は東洋学園、原町学園など、いわき市のいわき海浜自然の家、東洋学園児童部などを訪問。また、千葉県鴨川市の東洋学園施設他 5 施設、群馬県高崎市は、国立重度障害者施設「のぞみ園」などに 3 回訪問しています。

田川さんは、体育会スキー部 OB で体育会 OB 会設立に尽力したりソフィア会に積極的に関わっていたので物理学科、体育会の他たくさんの仲間がいます。その一つ「ソフィアンズ・スキー」が「田川さん応援隊」として募金を集めました。寄付用と募金用に「被災地支援ソックス Do it together!」を作ることに、田川さんの頼みに業者が工賃抜きで作成してくれたのです。ソックスを手渡すと大人も子供もみんな笑顔になったそうです。

被災から半年、1 年と経過し田川さんの訪問が 2、3 回目になり、子供達やスタッフの生活が少しずつ落ち着き、気持ちも打ち解けて笑顔の写真が届くようになりました。



のぞみ園にて（2011/7 月）



車椅子でスタッフと (2014/2月)

センターへ転院。入院中の田川さんを支えたのはもちろん奥様の陽子夫人(72 文独)とご家族ですが、小学生時代から今に至る多くの仲間達がいろいろな形でサポートしていました。中でも長年かかわってきたスペシャルオリンピックスの知的障害児からと体育会の仲間の励ましは田川さんを熱く力づけました。

そして療養生活が激変したのは、2013 年 1 月に所沢の国立障害者リハビリテーションセンター転院からです。入院患者からアスリートに変身します。体育会系の本領発揮です。転院から 10 日目に、田川さんが自分で打ったメールが届いたのです。見舞いに行くたびにできるようになったことを自慢げに披露してくれました。いよいよ自宅で生活するためのリハビリ訓練の総仕上げをして2013年12月7日にめでたく退院。1年5カ月ぶりに、車椅子生活に対応できるように改装されたご自宅へ戻られました。入院中は山あり谷ありでしたが、常に明るく前向きに生きる姿は救いであり本当に立派でした。

1 月に田川さん復帰応援隊メンバーでご自宅を訪問し、満面の笑顔で迎えられました。何といっても自宅で家族と過ごせるのが一番です。春には上智へ行って仲間と会うとか、夏には庭で BBQ パーティーをしたいとか次々と夢は広がります。見舞いに行くたびに毎回こちらが元気をもらい勇気づけられます。本当に誇るべきソフィアンの先輩です。

そこに突然、田川さんから、車の事故で仙台医療センターに入院中という連絡が入りました。2012 年 7 月 17 日に仙台で自動車事故！意識が戻ったのは 4 時間の緊急手術後で、頸部神経の大損傷で肩から下が不自由になってしまったのです。田川さんが何故！？すぐに仲間達に伝えました。「田川さん応援隊」は、「田川さん復帰応援隊」に改名。

8 月 8 日に仙台から横浜市立脳血管医療



経鷺会の「小さな企画」

総務委員長 三輪一夫 (1978 年経・営)

ほぼ 1 年前から、少人数でもいいから楽しいことをやろうという趣旨で、誰と言うこともなく個人的趣味の分野や得意分野を数人でナビゲートをする小さな企画が動きはじめました。会員相互の新しいつながりと自己発見を求める、そんな企画が始まっています。

これまでの内容は、歌舞伎観賞、落語ライブ観賞、サッカー観戦、ハイキング、経済講演会、ゴルフコンペ、座禅と多岐にわたっています。

詳細と申込方法は経鷺会ブログに掲載いたします。皆様ふるってご参加下さい。

これからの企画を以下に列举します。

- 3 月 29 日 (土) エリック・ウルナー氏経済講演会 (キングステッド リミテッド首席代表、ブライバート・バンキングのプロ) 於 パークホテル東京
- 4 月 4 日 (金)、5 月 2 日 (金) 18:30 ~ 参禅会と写経 於 成願寺 (中野坂上)
 - ・参禅会は初回は体験で無料、座る時間も 15 分程度。
 - ・楽な服装に着替えてから行いますので、ジャージなどご持参ください。
 - ・以降、参禅会は『毎月第一金曜日』に開催されます。
- 4 月 29 日 (火、祝日) ゴルフコンペ、於 藤ヶ谷 CC (柏市)
- 5 月 24 日 (土) 大滝公認会計士の贈与、相続、遺言の研究会、パークホテル東京
- 6 月 中旬 社会人のための歌舞伎鑑賞教室 於 国立劇場 (半蔵門)
- 8 月 下旬 サッカー観戦 於 浦和スタジアム
- 9 月 中旬 美術館ナイトツアー (金曜夜開催) 於 東京国立博物館 他



ー 年会費納入のお願いー

同封の「払込票」にて年会費 3,000 円の払込をお願い致します。あわせて、寄付金によるご支援・ご協力をお願い申し上げます。